

小学校第6学年 総合的な学習の時間学習指導案

1 単元名 命を守る～水害に備え、わたしたちにできること～

2 単元について

(1) 単元設定の理由について

本単元は、「命を守る ～水害に備え、私たちにできること～」という探究テーマで取り組む。地震をはじめ、台風やゲリラ豪雨など、自然災害は日本に大きな被害をもたらしている。本校も例外ではなく、特に河川に隣接した低地に立地している本校にとって、様々な災害の中でも、水害から自分達の命を守ることにについて考えることは喫緊の課題と言える。学校を「地域の防災拠点」として、最高学年である6年生が地域・家庭・保護者・下級生に対し、「水害から命を守る方法」について様々な視点から提案していく単元として設定する。

まず、自分達が暮らす学校区の水害対策に必要な課題を考える。課題から解決のために大切なことを提案し、発信するという活動を通して、児童の思考力を養い、受け取り側にもわかるように考えを表現することで課題解決能力を高めることができると考える。

(2) 児童の実態について

本学級の児童は、テレビやインターネットなどから様々な知識を得ており、先日の台風に関してどのような対策をすれば被害が少なくなるのかについて、課題を設定して自主的に調べたり、実際に自宅で窓ガラスが割れて飛散しないようテープを貼ったりしている。しかし、知識は獲得できても、なぜそうするのかという背景に関して考えられる児童がいない。また、自分で実態に応じた対策を考えられるという児童は非常に少ない。

(3) 教材について

本単元では、防災・減災のための方法について調べたことを、学校区の実態に応じてどのように生かせるのか自分たちで考え、3学期の学校公開日に開催する「第1回地域防災会議」で地域の人々、保護者、下級生に提案していく。本時では、これまで考えてきた防災・減災のための方法を、どのような形で提案して行くのか、様々なプレゼンテーション法を吟味しながら決定していく。自分達が生まれ育ち、生活する学校区の防災・減災意識を高められるように、多面的・多角的に考え、主体的に学習に取り組ませていく。

3 単元目標

- ・学校区の水害に対する防災・減災を探究していく過程において、地域の人々との関わりの中で、共に命を守るために必要な知識や技能を身に付け、防災・減災に関わる概念を形成できる。
【知識および技能】
- ・学校区を水害から守るための問いを見出し、地域の実態に応じたよりよい解決を図るという課題を立て、情報を集め、整理・分析して学校区に住まう人々に解決方法を提案できる。
【思考力・判断力・表現力等】
- ・自分自身も含めた学校区に住まう人々の命を守るために、主体的に地域の人々と関わり、より安心・安全な地域となるよう工夫、改善をし、実践しようとする態度を養う。
【学びに向かう力、人間性等】

4 校内研修との関わり (省略)

5 学力向上プランとの関わり (省略)

6 人権教育上のねらい (普遍的な人権課題「参加・参画」)

災害に強い地域社会の実現を目指し、防災・減災を実現した学校区づくりに、地域の人々と協力しながら積極的に参加・参画していこうとする態度を育てる。

7 人権教育上の視点

防災・減災を実現した学校区づくりに、地域の人々と協力しながら積極的に参加・参画しようとする。(価値・態度)

8 単元の評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<p>①これまで生活してきた学校区にも水害の危険があることを知り、防災・減災について必要な事柄を理解している。</p> <p>②地域に提案する防災・減災の方法について、受け取り側にとって、分かりやすい提案している。</p>	<p>①課題を解決するために、必要な資料を集めたり分類・整理したりして自分の考えを表現している。</p> <p>②水害について課題を設定し、調べた事象を比較したり、関連付けたりして課題解決に向けて整理・分析している。</p> <p>③地域防災会議に向けて、相手の立場になって考え、まとめている。</p>	<p>①課題解決に向けて、地域のさまざまな人々のことを想定して学習に取り組み、地域の一員として積極的に参画しようとしている。</p>

9 単元計画 (全29時間)

学習過程	○学習活動 ・児童の思考	・指導上の留意点 [] 評価	時
課題	<p>○水害とはどんなものか、これまでの生活を想起させる。</p> <p>・台風、洪水、津波などだね</p>	<p>・知識を出し合う中で、水害と水害によって起こる二次被害等についてまとめる。 [態①]</p>	3
情報	<p>○市役所危機管理課の方のお話を聞いて、市や学校区の実態、防災についての取組を知る。</p>	<p>・実際に市役所の方から話を聞くことで、身近な問題として捉えさせる。 [知技①]</p>	
整理まとめ	<p>○危機管理課やNHK For Schoolの映像などにより、水害から自分達を守るために重要な事柄について知る。</p> <p>・避難の仕方は知らないと危険だね。</p> <p>・どのくらい雨が降ったら避難すればいいか知らないと、避難できないね。</p> <p>・どこに避難するのか伝えたいね。</p>	<p>・水害に関する情報の中で、足りない部分を映像教材で実際に見て補う。</p> <p>・地域防災会議に向けて、自分がさらに調べて提案したい内容について絞れるようにする。 [思判表①]</p>	

<p>課題情報</p> <p>整理まとめ</p>	<p>○課題に沿って、基礎的な知識を調べする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>水害や防災について調べよう</p> </div> <p>○調べたことを学級で共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水害がおきてからだと避難が大変なのだね。 ・避難する時には慌てているから、必要なものは用意しておかないといけないね。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>提案するために必要な情報を集め、防災会議で提案する準備をしよう</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の選んだ内容に応じてインターネットや本などで、提案する内容だけでなく、内容を広げて調べさせ、高い防災知識をもった上で、提案できるようにする。 [知技②、思判表②] ・根拠を明確にできるように調べさせる。 [思判表①] 	<p>5</p>
<p>課題情報</p> <p>整理まとめ課題</p>	<p>○提案について必要な情報をさらに調べ、まとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提案するためには、これまで発生した水害について調べてみよう。 <p>○調べた内容をまとめ、課題を学校区での水害に絞り込むとともに、自分たちが提案することを決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハザードマップから土砂崩れや道路冠水の可能性がある場所を伝えたいな。 ・高齢者が多い地域では早めの避難が大事だってことを分かってほしいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校区に住む人々が、どのような情報や知識が必要かを考え、実態や取組など詳しく調べさせる。 [知技②、思判表②] ・提案については「誰ができることなのか」「どうすれば実現可能なのか」「自分達はどのような働きかけができるのか」地域の一人として、身近な問題として捉えてもらえるように具体的な内容にさせる。 [知技②、思判表①②、態①] 	<p>8</p>
<p>課題(本時)情報整理</p> <p>整理まとめ</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>地域の防災意識を高めるためには、どんな提案方法がよいだろうか</p> </div> <p>○これまで学習してきたことから、自分達の提案に活用できる方法について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際に体験してもらった方が伝わるのではないかな。 ・模型をつくって、避難するときに気を付けることを分かってもらおう。 <p>○提案準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分担して提案するための原稿をつくろう。 ・体験を待っている間に見てもらえるように模造紙に重要なことをまとめよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・提案方法に関しては、児童がこれまでの教科書などから考えるだけでなく、教師からも提示をし、地域・保護者・下級生が防災意識を高められる最も適した方法を考えさせる。 [知技②、思判表①、態①] ・幅広い世代が体験できたり、資料を見られたりできるように工夫させる。 [思判表③、態①] 	<p>10</p>
<p>まとめ</p>	<p>○地域防災会議</p> <p>○地域防災会議を実施しての振り返り</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・5年生の防災会議の発表を聞いて感じた事や、自分の発表を通して感じた事をまとめ、地域の防災意識が高められたのか振り返りをし、次年度に生かす。 [知技②態度①] 	<p>3</p>

10 本時の学習指導 (17/29 時間)

(1) 目標

自分たちの考えを伝えるために、地域や下級生等のさまざまな人々の立場から提案方法を考え、選び、活動の見通しをもつことができる。 [学びに向かう力、人間性等]

(2) 展開

◎人権教育上の配慮

学習活動 学習内容	主な発問(○) 予想される児童の反応(●)	指導上の留意点(・)と評価(◇)	時間
1 前時の確認をする。 2 本時のめあてを話し合う。	○前回調べたことは何ですか。 ●これまでの学習から活用できる提案方法を調べた。 ●自分達ができそうな方法を調べた。 【めあて】地域の人々に自分たちの考えを伝えるためには、どのような提案方法が最適だろうか ○提案を決める時に考えるべき視点は何かですか？ ●1年生にも、お年寄りにも分かりやすい提案がいいと思う。 ●やってみようと思ってもらえる提案がいい。	・単元の終末にあたる「地域防災会議」で提案するための学習であることを全体で確認する。	5分
3 みんながまとめた提案方法を確認する。	○みんなが調べた提案方法について見て回しましょう。見ても分からないことは、調べた人に質問して確認しましょう。 ●実際に触れるように展示をするのは、重さとか感覚がつかめるからいいね。 ●模造紙に書くだけでなく、パンフレットにすると、家に帰ってからも考えられるよね。	・みんなが調べた方法の中で、自分達の提案に用いることができる方法を考えながら見て回らせる。 ・前半は個人で確認させ、後半はグループごとに確認させる。	5分
4 最適な提案方法について話し合う。	○自分達のグループの提案はどの方法を活用するといいのか話し合しましょう。決まったことや考えたことはどんどんワークシートに記入しましょう。 ●パンフレットをつくって持ち帰ってもらおうことで、家でもう一度確認してもらおうことができるね。 ●小さい子は、クイズや実物で興味をもってもらったほうが、聞いてもらえるね。 ●訓練みたいに実際に動いてもらうのも、楽しく分かってもらえるからいいよね。 ●お年寄りにも分かりやすいように、説明を掲示しておいた方がいいね。 ●下の学年も分かるように、読み仮名を書かないといけないね。	・グループで提案内容を確認して、提案する際に最も有効な方法を考えさせ、実際にどのような形で提案できるのか、ワークシートに書かせる。 ・提案を決定する前に、防災会議で実際に取り組むことができるのか相談できるように、黒板に確認することを掲示する。 ◎地域の人々と協力しながら積極的に参加・参画しようとするために、防災会議の参加者を意識した視点で考え、話し合うように指示する。(価値・態度)	25分

<p>5 今後の計画を立てる。</p>	<p>○今後の学習の計画を考えましょう。 12月中・冬休み中・1月中に分けて、 道具や提案練習など、必要な準備をワークシートに具体的に記入しましょう。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◇ 評価場面</p> <p>〈具体の評価規準〉 態度① 〈評価方法〉 話し合いの様子、ワークシートの観察 A 提案方法による参加者の反応の想定を広げ、活動の見通しをもたせる。 B 選んだ提案方法で活動の見通しをもたせる。 C 提案方法が、下級生、保護者、地域のさまざまな方に対して十分伝わるかどうかを確かめさせる。</p> </div> <p>・全員が見通しをもって活動することができるようにする。 ・全ての提案方法が決まっていなグループには、まず一つ決めた提案方法について、道具の準備や作成時間などその後の活動を考えさせる。</p>	<p>5分</p>
<p>6 本時のまとめをする。</p> <p>7 本時の振り返りをする。</p>	<p>○ワークシートにどんな提案方法がいいのか、今日の学習をまとめましょう。</p> <p>●お年寄りから小さい子まで分かってもらえる提案方法がいい。</p> <p>●実際にやってみたいと思ってもらえる提案がいい。</p> <p>○今日の学習を振り返りましょう。</p> <p>●これまで考えてきた提案で、地域の人にやってみようと思ってもらえるように、次回から準備を頑張りたい。</p>	<p>・振り返りを通して、「地域防災会議」への意欲と見通しをもたせる。</p>	<p>5分</p>